

スキル領域とスキル熟達度

(6)ITスペシャリスト

スキル領域

職種:ITスペシャリスト

IT スペシャリストのスキル領域

	専門分野	スキル項目
職種共通スキル項目	全専門分野	<p>テクノロジー 最新技術動向、コンピュータシステム、プラットフォーム技術、システム管理技術、システム管理手法、データベース技術、ネットワーク技術、プログラミング言語、インターネット技術、システムの開発 など</p> <p>デザイン モデリング技法の理解と活用、設計手法、データベース、ミドルウェア、分散コンピューティング設計、開発環境設計、要件定義 など</p> <p>ソフトウェアエンジニアリング プログラミング技術、テスト技法、開発支援ツール、開発手法、再利用手法、オブジェクト指向開発、技術問題解決手法、セキュリティとプライバシー など</p> <p>業務分析 業務要件分析、技術要件分析、システム化戦略策定、プラットフォーム要件定義、システム価値の検証、情報化と経営、インダストリ知識、汎用業務 など</p> <p>コンサルティング技法の活用 コンサルティング技法の選択と活用、分析ツールとモデルの理解と活用</p> <p>知的資産管理(Knowledge Management)活用 知的資産の管理と活用</p> <p>プロジェクトマネジメント プロジェクト統合マネジメント、プロジェクト・スコープ・マネジメント、プロジェクト・タイム・マネジメント、プロジェクト・コスト・マネジメント、プロジェクト品質マネジメント、プロジェクト人的資源マネジメント、プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント、プロジェクト・リスク・マネジメント、プロジェクト調達マネジメント</p> <p>リーダーシップ リーダーシップ</p> <p>コミュニケーション 2Wayコミュニケーション、情報伝達、情報の整理、分析、検索</p> <p>ネゴシエーション ネゴシエーション</p>
	専門分野固有スキル項目	プラットフォーム
システム管理		<p>システム運用管理機能構築 システム運用管理方針、システム運用管理設計、システム管理計画、資源管理、障害管理、テスト技法、運用に関するシステム評価、システム保守、ユーザ対応 など</p>
データベース		<p>データベース構築 データベース関連技術動向、リレーショナルモデル、SQL、データベースマネジメントシステム、データ構造設計手法、物理データベース設計、キャパシティ管理 など</p>
ネットワーク		<p>ネットワーク構築 ネットワーク技術動向、ネットワーク標準、ネットワークモデリング技法、ネットワーク製品知識、ネットワーク構築、ネットワークシステムの運用、保守、管理 など</p>
分散コンピューティング		<p>分散コンピューティングシステム構築 ミドルウェア技術、データ配置手法、アプリケーション実行方式、サーバ技術、サーバ配置手法、分散コンピューティングシステム設計、セキュリティシステム実装 など</p>
セキュリティ		<p>セキュリティ機能構築 コンサルティング、セキュリティと個人情報、セキュリティ技術動向、セキュリティシステムの設計、実装、検査、企業システムへの脅威、社会環境 など</p>

スキル熟達度・知識項目

職種:ITスペシャリスト

専門分野:プラットフォーム

専門分野：
プラットフォーム

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>テクノロジー</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 最新技術動向 - 最新IT市場動向 - コンピュータ科学基礎 - コンピュータシステム - コンピュータシステムアーキテクチャ及び基盤技術の理解と活用 - システムプラットフォーム技術 - プラットフォーム技術 - ミドルウェア技術 - データベース技術 - リレーショナルデータベース管理システムの基本機能 - トランザクション処理とDBの同期点の関係 - ネットワーク技術の理解と活用 - インターネット技術 - システム管理技術 - プログラミング言語、マークアップランゲージ - データモデリング - データベース設計 - データベース運用設計 - システム管理手法 - アプリケーションセキュリティ - システムの構成 - システムの開発、保守 - システムの開発環境 	レベル7	/
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて、技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、システムプラットフォームフレームワーク設計、開発、導入メソッドロジを策定することができる。又、複雑性の高い技術的問題について技術チームをリードすることができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践するとともに、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、担当する領域における最新技術動向を踏まえた適用技術の選定を実施することができ、技術的問題解決を実践することができる。</p>

専門分野:
プラットフォーム

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>デザイン</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - モデリング技法の理解と活用 - 設計手法 - データベース、ミドルウェア、分散コンピューティング設計 - 開発環境設計 - 要件定義 	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、システムプラットフォームデザインをリードすることができ、複雑性の高いシステムデザインについて、技術チームをリードすることができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、システムプラットフォームデザインをリードすることができ、複雑性の高いデザインについて、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、システムプラットフォームデザインをリードすることができ、複雑性の高いデザインを実施することができる。
	レベル3	技術チームメンバーとして、担当領域におけるプラットフォームデザインを実施することができる。

専門分野：
プラットフォーム

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>ソフトウェアエンジニアリング</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 開発手法 - 設計手法 - 外部設計 - 内部設計 - プログラム設計 - プログラミング技術 - テスト技法 - 開発支援ツール - オブジェクト指向開発 - 再利用手法 - 検証技法の活用 - セキュリティシステムの実装、検査 - 技術問題解決手法 - 技術検証手法の活用と実践 - 標準化 - セキュリティとプライバシー - システム監査 	レベル7	(Blank description for Level 7)
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて、技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームをリードし、業務を遂行することができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームにテクニカルガイダンスを実施し、業務を遂行することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術について経験の浅いメンバに対してアドバイスを与え、業務を遂行することができる。
	レベル3	技術チームメンバとして、担当する領域において、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用した業務を実践することができる。

専門分野：
プラットフォーム

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>業務分析</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 業務要件分析 - 技術要件分析 - システム化戦略策定 - プラットフォーム要件定義 - システム価値の検証 - 情報化と経営 - インダストリ知識 - 汎用業務内容 - 汎用業務最新動向 	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて、技術チーム責任者として、業界及び技術動向の先見の見地に基づき複雑高度な業務要件、技術要件分析を行うことができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、業務要件、技術要件分析を行うことができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、業務要件、技術要件分析を行うことができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバーとして、担当する領域における業務要件、技術要件分析を行うことができる。</p>

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>コンサルティング技法の活用</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - コンサルティング技法の選択と活用 - 分析ツールとモデルの理解と活用 	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて、技術チーム責任者として、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを成功裡に実施することができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを成功裡に実施することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを実施することができる。
	レベル3	技術チームメンバとして、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを実施することができる。

専門分野:
プラットフォーム

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>知的資産管理(Knowledge Management)活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>- 知的資産の管理と活用</p>	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて、技術チーム責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバーとして、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>

専門分野:
プラットフォーム

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>プロジェクトマネジメント</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト統合マネジメント - プロジェクト・スコープ・マネジメント - プロジェクト・タイム・マネジメント - プロジェクト・コスト・マネジメント - プロジェクト品質マネジメント - プロジェクト人的資源マネジメント - プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント - プロジェクト・リスク・マネジメント - プロジェクト調達マネジメント 	レベル7	(Blank)
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。
	レベル3	技術チームメンバとして、担当する領域におけるプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを実行することができる。

専門分野:
プラットフォーム

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>リーダーシップ</p> <p>【知識項目】</p> <p>- リーダーシップ</p>	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、指揮命令し全工程を実施することができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、指揮命令し全工程を実施することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、指揮命令しプロジェクトを実施することができる。
	レベル3	技術チームメンバーとして、プロジェクトの担当する領域に参画することができる。

専門分野:
プラットフォーム

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>コミュニケーション</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 2Wayコミュニケーション - 情報伝達 - 情報の整理、分析、検索 	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者と情報技術に関する会話ができる。又、技術チームのメンバとの適切な2Wayコミュニケーションや情報伝達、また情報の整理、分析、検索を行うことができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者と技術に関する会話ができる。又、技術チームのメンバとの適切な2Wayコミュニケーションや情報伝達、また情報の整理、分析、検索を行うことができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、プロジェクトメンバとのチームコミュニケーションを図りプロジェクトを遂行することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、プロジェクトチームの状況を的確に理解し、適切なチームコミュニケーションを図ることができる。</p>

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>ネゴシエーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>- ネゴシエーション</p>	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者とゴールを設定し、論理的根拠に基づき、技術的課題に関する合意を形成できる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者とゴールを設定し、論理的根拠に基づき、技術的課題に関する合意を形成できる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、プロジェクトチームメンバと技術的課題に関する合意を形成できる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、プロジェクトチームの状況を的確に理解し、プロジェクトで必要な情報やデータをネゴシエーションを通じて獲得することができる。</p>

専門分野:
プラットフォーム

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【専門分野固有スキル項目】</p> <p>システムプラットフォーム構築</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - プラットフォームシステム設計手法 - テスト技法 - 導入、移行計画 - 問題管理 - パフォーマンス管理、キャパシティ管理 - 変更管理 - 資源管理 - システム化計画 - システム評価手法 - プラットフォーム技術 - プラットフォーム要件定義 - 障害対策手法 - 製品知識(プラットフォーム) 	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、システムプラットフォーム構築をリードすることができる。又、複雑性の高いシステム構築において、技術チームをリードすることができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、システムプラットフォーム構築をリードすることができる。又、複雑性の高いシステム構築において、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、システムプラットフォーム構築をリードすることができる。
	レベル3	技術チームメンバとして、担当する領域におけるシステムプラットフォーム構築を実施することができる。

スキル熟達度・知識項目

職種:ITスペシャリスト
専門分野:システム管理

専門分野：
システム管理

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>テクノロジー</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 最新技術動向 - 最新IT市場動向 - コンピュータ科学基礎 - コンピュータシステム - コンピュータシステムアーキテクチャ及び基盤技術の理解と活用 - システムプラットフォーム技術 - プラットフォーム技術 - ミドルウェア技術 - データベース技術 - リレーショナルデータベース管理システムの基本機能 - トランザクション処理とDBの同期点の関係 - ネットワーク技術の理解と活用 - インターネット技術 - システム管理技術 - プログラミング言語、マークアップランゲージ - データモデリング - データベース設計 - データベース運用設計 - システム管理手法 - アプリケーションセキュリティ - システムの構成 - システムの開発、保守 - システムの開発環境 	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、システム運用管理フレームワーク設計、開発、導入メソッドロジを策定することができる。又、複雑性の高い技術的問題について技術チームをリードすることができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践するとともに、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、担当する領域における最新技術動向を踏まえた適用技術の選定を実施することができ、技術的問題解決を実践することができる。</p>

専門分野：
システム管理

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>デザイン</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - モデリング技法の理解と活用 - 設計手法 - データベース、ミドルウェア、分散コンピューティング設計 - 開発環境設計 - 要件定義 	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、システム運用管理デザインをリードすることができ、複雑性の高いシステムデザインについて、技術チームをリードすることができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、システム運用管理デザインをリードすることができ、複雑性の高いデザインについて、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、システム運用管理デザインをリードすることができ、複雑性の高いデザインを実施することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、担当領域におけるシステム運用管理デザインを実施することができる。</p>

専門分野：
システム管理

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>ソフトウェアエンジニアリング</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 開発手法 - 設計手法 - 外部設計 - 内部設計 - プログラム設計 - プログラミング技術 - テスト技法 - 開発支援ツール - オブジェクト指向開発 - 再利用手法 - 検証技法の活用 - セキュリティシステムの実装、検査 - 技術問題解決手法 - 技術検証手法の活用と実践 - 標準化 - セキュリティとプライバシー - システム監査 	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームをリードし、業務を遂行することができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームにテクニカルガイダンスを実施し、業務を遂行することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術について経験の浅いメンバに対してアドバイスを与え、業務を遂行することができる。
	レベル3	技術チームメンバとして、担当する領域において、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用した業務を実践することができる。

専門分野：
システム管理

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>業務分析</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 業務要件分析 - 技術要件分析 - システム化戦略策定 - プラットフォーム要件定義 - システム価値の検証 - 情報化と経営 - インダストリ知識 - 汎用業務内容 - 汎用業務最新動向 	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、業界及び技術動向の先見的地に基づき複雑高度な業務要件、技術要件分析を行うことができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、業務要件、技術要件分析を行うことができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、業務要件、技術要件分析を行うことができる。
	レベル3	技術チームメンバーとして、担当する領域における業務要件、技術要件分析を行うことができる。

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度		
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>コンサルティング技法の活用</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - コンサルティング技法の選択と活用 - 分析ツールとモデルの理解と活用 	レベル7		
	レベル6		ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを成功裡に実施することができる。
	レベル5		ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを成功裡に実施することができる。
	レベル4		ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを実施することができる。
	レベル3		技術チームメンバーとして、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを実施することができる。

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>知的資産管理(Knowledge Management)活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>- 知的資産の管理と活用</p>	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバーとして、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>

専門分野:
システム管理

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>プロジェクトマネジメント</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト統合マネジメント - プロジェクト・スコープ・マネジメント - プロジェクト・タイム・マネジメント - プロジェクト・コスト・マネジメント - プロジェクト品質マネジメント - プロジェクト人的資源マネジメント - プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント - プロジェクト・リスク・マネジメント - プロジェクト調達マネジメント 	レベル7	(Blank)
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。
	レベル3	技術チームメンバとして、担当する領域におけるプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを実行することができる。

専門分野：
システム管理

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>リーダーシップ</p> <p>【知識項目】</p> <p>- リーダーシップ</p>	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、指揮命令し全工程を実施することができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、指揮命令し全工程を実施することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、指揮命令しプロジェクトを実施することができる。
	レベル3	技術チームメンバーとして、プロジェクトの担当する領域に参画することができる。

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>コミュニケーション</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 2Wayコミュニケーション - 情報伝達 - 情報の整理、分析、検索 	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者と情報技術に関する会話ができる。又、技術チームのメンバとの適切な2Wayコミュニケーションや情報伝達、また情報の整理、分析、検索を行うことができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者と情報技術に関する会話ができる。又、技術チームのメンバとの適切な2Wayコミュニケーションや情報伝達、また情報の整理、分析、検索を行うことができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、プロジェクトメンバとのチームコミュニケーションを図りプロジェクトを遂行することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、プロジェクトチームの状況を的確に理解し、適切なチームコミュニケーションを図ることができる。</p>

専門分野：
システム管理

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>ネゴシエーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>- ネゴシエーション</p>	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者とゴールを設定し、論理的根拠に基づき、技術的課題に関する合意を形成できる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者とゴールを設定し、論理的根拠に基づき、技術的課題に関する合意を形成できる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、プロジェクトチームメンバと技術的課題に関する合意を形成できる。
	レベル3	技術チームメンバとして、プロジェクトチームの状況を的確に理解し、プロジェクトで必要な情報やデータをネゴシエーションを通じて獲得することができる。

専門分野:
システム管理

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【専門分野固有スキル項目】</p> <p>システム運用管理機能構築</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - システム運用管理方針 - システム運用管理設計 - システム管理計画 - 資源管理 - 障害管理 - 性能管理 - テスト技法 - 導入、移行計画 - 新規システム開発とシステム移行 - 運用に関するシステム評価 - システム保守 - ユーザ対応 	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、システム運用管理機能構築をリードすることができる。又、複雑性の高いシステム運用管理機能構築において、技術チームをリードすることができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、システム運用管理機能構築をリードすることができる。又、複雑性の高いシステム運用管理機能構築において、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、システム運用管理機能構築をリードすることができる。
	レベル3	技術チームメンバとして、担当する領域におけるシステム運用管理機能構築を実施することができる。

スキル熟達度・知識項目

職種:ITスペシャリスト

専門分野:データベース

専門分野:
データベース

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>テクノロジー</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 最新技術動向 - 最新IT市場動向 - コンピュータ科学基礎 - コンピュータシステム - コンピュータシステムアーキテクチャ及び基盤技術の理解と活用 - システムプラットフォーム技術 - プラットフォーム技術 - ミドルウェア技術 - データベース技術 - リレーショナルデータベース管理システムの基本機能 - トランザクション処理とDBの同期点の関係 - ネットワーク技術の理解と活用 - インターネット技術 - システム管理技術 - プログラミング言語、マークアップランゲージ - データモデリング - データベース設計 - データベース運用設計 - システム管理手法 - アプリケーションセキュリティ - システムの構成 - システムの開発、保守 - システムの開発環境 	レベル7	/
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、データベースフレームワーク設計、開発、導入メソッドロジを策定することができる。又、複雑性の高い技術的問題について技術チームをリードすることができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践するとともに、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、担当する領域における最新技術動向を踏まえた適用技術の選定を実施することができ、技術的問題解決を実践することができる。</p>

専門分野:
データベース

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>デザイン</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - モデリング技法の理解と活用 - 設計手法 - データベース、ミドルウェア、分散コンピューティング設計 - 開発環境設計 - 要件定義 	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、データベースデザインをリードすることができ、複雑性の高いシステムデザインについて、技術チームをリードすることができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、データベースデザインをリードすることができ、複雑性の高いデザインについて、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、データベースデザインをリードすることができ、複雑性の高いデザインを実施することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバーとして、担当領域におけるデータベースデザインを実施することができる。</p>

専門分野：
データベース

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>ソフトウェアエンジニアリング</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 開発手法 - 設計手法 - 外部設計 - 内部設計 - プログラム設計 - プログラミング技術 - テスト技法 - 開発支援ツール - オブジェクト指向開発 - 再利用手法 - 検証技法の活用 - セキュリティシステムの実装、検査 - 技術問題解決手法 - 技術検証手法の活用と実践 - 標準化 - セキュリティとプライバシー - システム監査 	レベル7	(Blank)
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームをリードし、業務を遂行することができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームにテクニカルガイダンスを実施し、業務を遂行することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術について経験の浅いメンバに対してアドバイスを与え、業務を遂行することができる。
	レベル3	技術チームメンバとして、担当する領域において、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用した業務を実践することができる。

専門分野:
データベース

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>業務分析</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 業務要件分析 - 技術要件分析 - システム化戦略策定 - プラットフォーム要件定義 - システム価値の検証 - 情報化と経営 - インダストリ知識 - 汎用業務内容 - 汎用業務最新動向 	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、業界及び技術動向の先見的地に基づき複雑高度な業務要件、技術要件分析を行うことができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、業務要件、技術要件分析を行うことができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、業務要件、技術要件分析を行うことができる。
	レベル3	技術チームメンバーとして、担当する領域における業務要件、技術要件分析を行うことができる。

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度		
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>コンサルティング技法の活用</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - コンサルティング技法の選択と活用 - 分析ツールとモデルの理解と活用 	レベル7		
	レベル6		ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを成功裡に実施することができる。
	レベル5		ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを成功裡に実施することができる。
	レベル4		ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを実施することができる。
	レベル3		技術チームメンバーとして、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを実施することができる。

専門分野:
データベース

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>知的資産管理(Knowledge Management)活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>- 知的資産の管理と活用</p>	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバーとして、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>

専門分野:
データベース

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>プロジェクトマネジメント</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト統合マネジメント - プロジェクト・スコープ・マネジメント - プロジェクト・タイム・マネジメント - プロジェクト・コスト・マネジメント - プロジェクト品質マネジメント - プロジェクト人的資源マネジメント - プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント - プロジェクト・リスク・マネジメント - プロジェクト調達マネジメント 	レベル7	(Blank)
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。
	レベル3	技術チームメンバとして、担当する領域におけるプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを実行することができる。

専門分野:
データベース

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
【職種共通スキル項目】 リーダーシップ 【知識項目】 - リーダーシップ	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、指揮命令し全工程を実施することができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、指揮命令し全工程を実施することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、指揮命令しプロジェクトを実施することができる。
	レベル3	技術チームメンバーとして、プロジェクトの担当する領域に参画することができる。

専門分野：
データベース

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>コミュニケーション</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 2Wayコミュニケーション - 情報伝達 - 情報の整理、分析、検索 	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者と情報技術に関する会話ができる。又、技術チームのメンバとの適切な2Wayコミュニケーションや情報伝達、また情報の整理、分析、検索を行うことができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者と情報技術に関する会話ができる。又、技術チームのメンバとの適切な2Wayコミュニケーションや情報伝達、また情報の整理、分析、検索を行うことができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、プロジェクトメンバとのチームコミュニケーションを図りプロジェクトを遂行することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、プロジェクトチームの状況を的確に理解し、適切なチームコミュニケーションを図ることができる。</p>

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>ネゴシエーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>- ネゴシエーション</p>	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者とゴールを設定し、論理的根拠に基づき、技術的課題に関する合意を形成できる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者とゴールを設定し、論理的根拠に基づき、技術的課題に関する合意を形成できる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、プロジェクトチームメンバと技術的課題に関する合意を形成できる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、プロジェクトチームの状況を的確に理解し、プロジェクトで必要な情報やデータをネゴシエーションを通じて獲得することができる。</p>

専門分野:
データベース

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【専門分野固有スキル項目】</p> <p>データベース構築</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - データベース関連技術動向 - データベース開発における重要技術 - データベースの周辺技術 - リレーショナルモデル - SQL - リレーショナルデータベース管理システムの基本機能 - データベースマネジメントシステム - データベースマネジメントシステム(DBMS)の選定 - データベースマネジメントシステム(DBMS)の導入 - データ構造設計手法 - データベースの全体計画 - データベースの要件定義 - データベース設計の準備 - 物理データベースの設計 - 論理データモデルの作成 - テスト技法 - 導入、移行計画 - データベース構築 - ストレージ管理計画 - キャパシティ管理 - データベースシステムの運用管理 	レベル7	/
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、データベース構築をリードすることができる。又、複雑性の高いデータベース構築において、技術チームをリードすることができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、データベース構築をリードすることができる。又、複雑性の高いデータベース構築において、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、データベース構築をリードすることができる。
	レベル3	技術チームメンバとして、担当する領域におけるデータベース構築を実施することができる。

スキル熟達度・知識項目

職種: ITスペシャリスト

専門分野: ネットワーク

専門分野：
ネットワーク

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>テクノロジー</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 最新技術動向 - 最新IT市場動向 - コンピュータ科学基礎 - コンピュータシステム - コンピュータシステムアーキテクチャ及び基盤技術の理解と活用 - システムプラットフォーム技術 - プラットフォーム技術 - ミドルウェア技術 - データベース技術 - リレーショナルデータベース管理システムの基本機能 - トランザクション処理とDBの同期点の関係 - ネットワーク技術の理解と活用 - インターネット技術 - システム管理技術 - プログラミング言語、マークアップランゲージ - データモデリング - データベース設計 - データベース運用設計 - システム管理手法 - アプリケーションセキュリティ - システムの構成 - システムの開発、保守 - システムの開発環境 	レベル7	
	レベル6	<p>300ノード以上の大規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、ネットワークフレームワーク設計、開発、導入メソッドを策定することができる。又、複雑性の高い技術的問題について技術チームをリードすることができる。</p> <p>(注:ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル5	<p>100ノード以上300ノード未満の中規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践するとともに、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。</p> <p>(注:ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル4	<p>100ノード未満の小規模ネットワークプロジェクトにて技術チームリーダーとして、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践することができる。</p> <p>(注:ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバーとして、担当する領域における最新技術動向を踏まえた適用技術の選定を実施することができ、技術的問題解決を実践することができる。</p>

専門分野:
ネットワーク

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>デザイン</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - モデリング技法の理解と活用 - 設計手法 - データベース、ミドルウェア、分散コンピューティング設計 - 開発環境設計 - 要件定義 	レベル7	(このレベルは、このドキュメントの範囲外です。)
	レベル6	<p>300ノード以上の大規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、ネットワークデザインをリードすることができ、複雑性の高いシステムデザインについて、技術チームをリードすることができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル5	<p>100ノード以上300ノード未満の中規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、ネットワークデザインをリードすることができ、複雑性の高いデザインについて、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル4	<p>100ノード未満の小規模ネットワークプロジェクトにて技術チームリーダーとして、ネットワークデザインをリードすることができ、複雑性の高いデザインを実施することができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバーとして、担当領域におけるネットワークデザインを実施することができる。</p>

専門分野：
ネットワーク

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>ソフトウェアエンジニアリング</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 開発手法 - 設計手法 - 外部設計 - 内部設計 - プログラム設計 - プログラミング技術 - テスト技法 - 開発支援ツール - オブジェクト指向開発 - 再利用手法 - 検証技法の活用 - セキュリティシステムの実装、検査 - 技術問題解決手法 - 技術検証手法の活用と実践 - 標準化 - セキュリティとプライバシー - システム監査 	レベル7	
	レベル6	<p>300ノード以上の大規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームをリードし、業務を遂行することができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル5	<p>100ノード以上300ノード未満の中規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームにテクニカルガイダンスを実施し、業務を遂行することができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル4	<p>100ノード未満の小規模ネットワークプロジェクトにて技術チームリーダーとして、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術について経験の浅いメンバーに対してアドバイスを与え、業務を遂行することができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバーとして、担当する領域において、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用した業務を実践することができる。</p>

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>業務分析</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 業務要件分析 - 技術要件分析 - システム化戦略策定 - プラットフォーム要件定義 - システム価値の検証 - 情報化と経営 - インダストリ知識 - 汎用業務内容 - 汎用業務最新動向 	レベル7	
	レベル6	<p>300ノード以上の大規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、業界及び技術動向の先見の見地に基づき複雑高度な業務要件、技術要件分析を行うことができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル5	<p>100ノード以上300ノード未満の中規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、業務要件、技術要件分析を行うことができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル4	<p>100ノード未満の小規模ネットワークプロジェクトにて技術チームリーダーとして、業務要件、技術要件分析を行うことができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、担当する領域における業務要件、技術要件分析を行うことができる。</p>

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>コンサルティング技法の活用</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - コンサルティング技法の選択と活用 - 分析ツールとモデルの理解と活用 	レベル7	(注: 本項目はスキル熟達度レベル7に該当する)
	レベル6	300ノード以上の大規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを成功裡に実施することができる。 (注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)
	レベル5	100ノード以上300ノード未満の中規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを成功裡に実施することができる。 (注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)
	レベル4	100ノード未満の小規模ネットワークプロジェクトにて技術チームリーダーとして、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを実施することができる。 (注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)
	レベル3	技術チームメンバとして、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを実施することができる。

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>知的資産管理(Knowledge Management)活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>- 知的資産の管理と活用</p>	レベル7	(このレベルは斜線で塗りつぶされています)
	レベル6	<p>300ノード以上の大規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p> <p>(注:ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル5	<p>300ノード以上の大規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p> <p>(注:ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル4	<p>100ノード未満の小規模ネットワークプロジェクトにて技術チームリーダーとして、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p> <p>(注:ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>

専門分野:
ネットワーク

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>プロジェクトマネジメント</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト統合マネジメント - プロジェクト・スコープ・マネジメント - プロジェクト・タイム・マネジメント - プロジェクト・コスト・マネジメント - プロジェクト品質マネジメント - プロジェクト人的資源マネジメント - プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント - プロジェクト・リスク・マネジメント - プロジェクト調達マネジメント 	レベル7	(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)
	レベル6	<p>300ノード以上の大規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル5	<p>100ノード以上300ノード未満の中規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル4	<p>100ノード未満の小規模ネットワークプロジェクトにて技術チームリーダーとして、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、担当する領域におけるプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを実行することができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>リーダーシップ</p> <p>【知識項目】</p> <p>- リーダーシップ</p>	レベル7	
	レベル6	<p>300ノード以上の大規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、指揮、命令し全工程を実施することができる。</p> <p>(注:ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル5	<p>100ノード以上300ノード未満の中規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、指揮、命令し全工程を実施することができる。</p> <p>(注:ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル4	<p>100ノード未満の小規模ネットワークプロジェクトにて技術チームリーダーとして、指揮、命令しプロジェクトを実施することができる。</p> <p>(注:ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバーとして、プロジェクトの担当する領域に参画することができる。</p>

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>コミュニケーション</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 2Wayコミュニケーション - 情報伝達 - 情報の整理、分析、検索 	レベル7	(このレベルは斜線で塗りつぶされています)
	レベル6	<p>300ノード以上の大規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者と情報技術に関する会話ができる。又、技術チームのメンバとの適切な2Wayコミュニケーションや情報伝達、また情報の整理、分析、検索を行うことができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル5	<p>100ノード以上300ノード未満の中規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者と情報技術に関する会話ができる。又、技術チームのメンバとの適切な2Wayコミュニケーションや情報伝達、また情報の整理、分析、検索を行うことができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル4	<p>100ノード未満の小規模ネットワークプロジェクトにて技術チームリーダーとして、プロジェクトメンバとのチームコミュニケーションを図りプロジェクトを遂行することができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、プロジェクトチームの状況を的確に理解し、適切なチームコミュニケーションを図ることができる。</p>

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>ネゴシエーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>- ネゴシエーション</p>	レベル7	
	レベル6	<p>300ノード以上の大規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者とゴールを設定し、論理的根拠に基づき、技術的課題に関する合意を形成できる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル5	<p>100ノード以上300ノード未満の中規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者とゴールを設定し、論理的根拠に基づき、技術的課題に関する合意を形成できる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル4	<p>100ノード未満の小規模ネットワークプロジェクトにて技術チームリーダーとして、プロジェクトチームメンバと技術的課題に関する合意を形成できる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、プロジェクトチームの状況を的確に理解し、プロジェクトにおいてネゴシエーションを通じて必要な情報やデータを獲得することができる。</p>

専門分野:
ネットワーク

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【専門分野固有スキル項目】</p> <p>ネットワーク構築</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - ネットワーク技術動向 - ネットワークシステムの技術動向 - ネットワーク標準 - ネットワークモデリング技法 - ネットワーク製品知識 - ネットワーク技術の理解と活用 - ネットワークシステムの要件定義 - ネットワーク構築 - ネットワークシステムの運用、保守、管理 - ネットワークシステムの導入と移行 - ネットワークシステムの評価 - テスト技法 - 導入、移行計画 	レベル7	
	レベル6	<p>300ノード以上の大規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、ネットワーク構築をリードすることができる。又、複雑性の高いネットワーク構築において、技術チームをリードすることができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル5	<p>100ノード以上300ノード未満の中規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、ネットワーク構築をリードすることができる。又、複雑性の高いネットワーク構築において、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル4	<p>100ノード未満の小規模ネットワークプロジェクトにて技術チームリーダーとして、ネットワーク構築をリードすることができる。</p> <p>(注: ノード数はクライアント及びHUBを除く)</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバーとして、担当する領域におけるネットワーク構築を実施することができる。</p>

スキル熟達度・知識項目

職種:ITスペシャリスト

専門分野:分散コンピューティング

専門分野：
分散コンピューティング

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>テクノロジー</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 最新技術動向 - 最新IT市場動向 - コンピュータ科学基礎 - コンピュータシステム - コンピュータシステムアーキテクチャ及び基盤技術の理解と活用 - システムプラットフォーム技術 - プラットフォーム技術 - ミドルウェア技術 - データベース技術 - リレーショナルデータベース管理システムの基本機能 - トランザクション処理とDBの同期点の関係 - ネットワーク技術の理解と活用 - インターネット技術 - システム管理技術 - プログラミング言語、マークアップランゲージ - データモデリング - データベース設計 - データベース運用設計 - システム管理手法 - アプリケーションセキュリティ - システムの構成 - システムの開発、保守 - システムの開発環境 	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、分散コンピューティングフレームワーク設計、開発、導入メソッドロジを策定することができる。又、複雑性の高い技術的問題について技術チームをリードすることができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践するとともに、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、担当する領域における最新技術動向を踏まえた適用技術の選定を実施することができ、技術的問題解決を実践することができる。</p>

専門分野：
分散コンピューティング

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>デザイン</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - モデリング技法の理解と活用 - 設計手法 - データベース、ミドルウェア、分散コンピューティング設計 - 開発環境設計 - 要件定義 	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、分散コンピューティングシステムデザインをリードすることができ、複雑性の高いシステムデザインについて、技術チームをリードすることができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、分散コンピューティングシステムデザインをリードすることができ、複雑性の高いデザインについて、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、分散コンピューティングシステムデザインをリードすることができ、複雑性の高いデザインを実施することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、担当領域における分散コンピューティングシステムデザインを実施することができる。</p>

専門分野：
分散コンピューティング

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>ソフトウェアエンジニアリング</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 開発手法 - 設計手法 - 外部設計 - 内部設計 - プログラム設計 - プログラミング技術 - テスト技法 - 開発支援ツール - オブジェクト指向開発 - 再利用手法 - 検証技法の活用 - セキュリティシステムの実装、検査 - 技術問題解決手法 - 技術検証手法の活用と実践 - 標準化 - セキュリティとプライバシー - システム監査 	レベル7	(Blank description for Level 7)
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームをリードし、業務を遂行することができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームにテクニカルガイダンスを実施し、業務を遂行することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術について経験の浅いメンバに対してアドバイスを与え、業務を遂行することができる。
	レベル3	技術チームメンバとして、担当する領域において、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用した業務を実践することができる。

専門分野：
分散コンピューティング

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>業務分析</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 業務要件分析 - 技術要件分析 - システム化戦略策定 - プラットフォーム要件定義 - システム価値の検証 - 情報化と経営 - インダストリ知識 - 汎用業務内容 - 汎用業務最新動向 	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、業界及び技術動向の先見的地に基づき複雑高度な業務要件、技術要件分析を行うことができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、業務要件、技術要件分析を行うことができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、業務要件、技術要件分析を行うことができる。
	レベル3	技術チームメンバーとして、担当する領域における業務要件、技術要件分析を行うことができる。

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度		
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>コンサルティング技法の活用</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - コンサルティング技法の選択と活用 - 分析ツールとモデルの理解と活用 	レベル7		
	レベル6		ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを成功裡に実施することができる。
	レベル5		ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを成功裡に実施することができる。
	レベル4		ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを実施することができる。
	レベル3		技術チームメンバーとして、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを実施することができる。

専門分野:
分散コンピューティング

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>知的資産管理(Knowledge Management)活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>- 知的資産の管理と活用</p>	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバーとして、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>

専門分野:
分散コンピューティング

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>プロジェクトマネジメント</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト統合マネジメント - プロジェクト・スコープ・マネジメント - プロジェクト・タイム・マネジメント - プロジェクト・コスト・マネジメント - プロジェクト品質マネジメント - プロジェクト人的資源マネジメント - プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント - プロジェクト・リスク・マネジメント - プロジェクト調達マネジメント 	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、担当する領域におけるプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを実行することができる。</p>

専門分野:
分散コンピューティング

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>リーダーシップ</p> <p>【知識項目】</p> <p>- リーダーシップ</p>	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、指揮命令し全工程を実施することができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、指揮命令し全工程を実施することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、指揮命令しプロジェクトを実施することができる。
	レベル3	技術チームメンバーとして、プロジェクトの担当する領域に参画することができる。

専門分野：
分散コンピューティング

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>コミュニケーション</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 2Wayコミュニケーション - 情報伝達 - 情報の整理、分析、検索 	レベル7	(Blank)
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者と情報技術に関する会話ができる。又、技術チームのメンバとの適切な2Wayコミュニケーションや情報伝達、また情報の整理、分析、検索を行うことができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者と情報技術に関する会話ができる。又、技術チームのメンバとの適切な2Wayコミュニケーションや情報伝達、また情報の整理、分析、検索を行うことができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、プロジェクトメンバとのチームコミュニケーションを図りプロジェクトを遂行することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、プロジェクトチームの状況を的確に理解し、適切なチームコミュニケーションを図ることができる。</p>

専門分野:
分散コンピューティング

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>ネゴシエーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>- ネゴシエーション</p>	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者とゴールを設定し、論理的根拠に基づき、技術的課題に関する合意を形成できる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者とゴールを設定し、論理的根拠に基づき、技術的課題に関する合意を形成できる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、プロジェクトチームメンバと技術的課題に関する合意を形成できる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、プロジェクトチームの状況を的確に理解し、プロジェクトで必要な情報やデータをネゴシエーションを通じて獲得することができる。</p>

専門分野:
分散コンピューティング

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【専門分野固有スキル項目】</p> <p>分散コンピューティングシステム構築</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - ミドルウェア技術 - データ配置手法 - アプリケーション実行方式 - サーバ技術 - サーバ配置手法 - ネットワーク技術の理解と活用 - ユーザインタフェース技術 - 性能評価手法 - 負荷分散と可用性 - セキュリティシステムの実装、検査 - セキュリティ技術動向 - 分散アプリケーション設計 - 分散コンピューティングシステムの設計 - 分散コンピューティング開発環境 - テスト技法 - 導入、移行計画 	レベル7	(Blank)
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、分散コンピューティングシステム構築をリードすることができる。又、複雑性の高い分散コンピューティングシステム構築において、技術チームをリードすることができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、分散コンピューティングシステム構築をリードすることができる。又、複雑性の高い分散コンピューティングシステム構築において、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、分散コンピューティングシステム構築をリードすることができる。
	レベル3	技術チームメンバーとして、担当する領域における分散コンピューティングシステム構築を実施することができる。

スキル熟達度・知識項目

職種:ITスペシャリスト

専門分野:セキュリティ

専門分野：
セキュリティ

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>テクノロジー</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 最新技術動向 - 最新IT市場動向 - コンピュータ科学基礎 - コンピュータシステム - コンピュータシステムアーキテクチャ及び基盤技術の理解と活用 - システムプラットフォーム技術 - プラットフォーム技術 - ミドルウェア技術 - データベース技術 - リレーショナルデータベース管理システムの基本機能 - トランザクション処理とDBの同期点の関係 - ネットワーク技術の理解と活用 - インターネット技術 - システム管理技術 - プログラミング言語、マークアップランゲージ - データモデリング - データベース設計 - データベース運用設計 - システム管理手法 - アプリケーションセキュリティ - システムの構成 - システムの開発、保守 - システムの開発環境 	レベル7	(Blank)
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、セキュリティフレームワーク設計、開発、導入メソッドロジを策定することができる。又、複雑性の高い技術的問題について技術チームをリードすることができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践するとともに、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、担当する領域における最新技術動向を踏まえた適用技術の選定を実施することができ、技術的問題解決を実践することができる。</p>

専門分野:
セキュリティ

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>デザイン</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - モデリング技法の理解と活用 - 設計手法 - データベース、ミドルウェア、分散コンピューティング設計 - 開発環境設計 - 要件定義 	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、セキュリティシステムデザインをリードすることができ、複雑性の高いシステムデザインについて、技術チームをリードすることができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、セキュリティシステムデザインをリードすることができ、複雑性の高いデザインについて、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、セキュリティシステムデザインをリードすることができ、複雑性の高いデザインを実施することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、担当領域におけるセキュリティシステムデザインを実施することができる。</p>

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>ソフトウェアエンジニアリング</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 開発手法 - 設計手法 - 外部設計 - 内部設計 - プログラム設計 - プログラミング技術 - テスト技法 - 開発支援ツール - オブジェクト指向開発 - 再利用手法 - 検証技法の活用 - セキュリティシステムの実装、検査 - 技術問題解決手法 - 技術検証手法の活用と実践 - 標準化 - セキュリティとプライバシー - システム監査 	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームをリードし、業務を遂行することができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームにテクニカルガイダンスを実施し、業務を遂行することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術について経験の浅いメンバに対してアドバイスを与え、業務を遂行することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、担当する領域において、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用した業務を実践することができる。</p>

専門分野:
セキュリティ

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>業務分析</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 業務要件分析 - 技術要件分析 - システム化戦略策定 - プラットフォーム要件定義 - システム価値の検証 - 情報化と経営 - インダストリ知識 - 汎用業務内容 - 汎用業務最新動向 	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、業界及び技術動向の先見的地に基づき複雑高度な業務要件、技術要件分析を行うことができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、業務要件、技術要件分析を行うことができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、業務要件、技術要件分析を行うことができる。
	レベル3	技術チームメンバーとして、担当する領域における業務要件、技術要件分析を行うことができる。

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>コンサルティング技法の活用</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - コンサルティング技法の選択と活用 - 分析ツールとモデルの理解と活用 	レベル7	(Blank)
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを成功裡に実施することができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを成功裡に実施することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを実施することができる。
	レベル3	技術チームメンバーとして、コンサルティング技法を活用し、プロジェクトを実施することができる。

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>知的資産管理(Knowledge Management)活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>- 知的資産の管理と活用</p>	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバーとして、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、プロジェクトを効率的、高品質に実施することができる。</p>

専門分野:
セキュリティ

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>プロジェクトマネジメント</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト統合マネジメント - プロジェクト・スコープ・マネジメント - プロジェクト・タイム・マネジメント - プロジェクト・コスト・マネジメント - プロジェクト品質マネジメント - プロジェクト人的資源マネジメント - プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント - プロジェクト・リスク・マネジメント - プロジェクト調達マネジメント 	レベル7	(Blank)
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、プロジェクトマネジメント 職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、プロジェクトマネジメント職種と協業し、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを遂行することができる。
	レベル3	技術チームメンバーとして、担当する領域におけるプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを実行することができる。

専門分野:
セキュリティ

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>リーダーシップ</p> <p>【知識項目】</p> <p>- リーダーシップ</p>	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、指揮命令し全工程を実施することができる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、指揮命令し全工程を実施することができる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、指揮命令しプロジェクトを実施することができる。
	レベル3	技術チームメンバーとして、プロジェクトの担当する領域に参画することができる。

専門分野:
セキュリティ

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>コミュニケーション</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 2Wayコミュニケーション - 情報伝達 - 情報の整理、分析、検索 	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者と情報技術に関する会話ができる。又、技術チームのメンバとの適切な2Wayコミュニケーションや情報伝達、また情報の整理、分析、検索を行うことができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者と情報技術に関する会話ができる。又、技術チームのメンバとの適切な2Wayコミュニケーションや情報伝達、また情報の整理、分析、検索を行うことができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、プロジェクトメンバとのチームコミュニケーションを図りプロジェクトを遂行することができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバとして、プロジェクトチームの状況を的確に理解し、適切なチームコミュニケーションを図ることができる。</p>

専門分野:
セキュリティ

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>ネゴシエーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>- ネゴシエーション</p>	レベル7	
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者とゴールを設定し、論理的根拠に基づき、技術的課題に関する合意を形成できる。
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として顧客責任者とゴールを設定し、論理的根拠に基づき、技術的課題に関する合意を形成できる。
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、プロジェクトチームメンバと技術的課題に関する合意を形成できる。
	レベル3	技術チームメンバとして、プロジェクトチームの状況を的確に理解し、プロジェクトで必要な情報やデータをネゴシエーションを通じて獲得することができる。

専門分野:
セキュリティ

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【専門分野固有スキル項目】</p> <p>セキュリティ機能構築</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - コンサルティングの実施 - セキュリティと個人情報 - セキュリティ技術動向 - セキュリティの分析 - セキュリティシステムの設計 - セキュリティシステムの実装、検査 - セキュリティシステムの運用管理 - セキュリティの見直し - プライバシシステムの实装と検査 - 企業システムへの脅威 - 社会環境 - テスト技法 - 導入、移行計画 	レベル7	
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、セキュリティ機能構築をリードすることができる。又、複雑性の高いセキュリティ機能構築において、技術チームをリードすることができる。</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、セキュリティ機能構築をリードすることができる。又、複雑性の高いセキュリティ機能構築において、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、セキュリティ機能構築をリードすることができる。</p>
	レベル3	<p>技術チームメンバーとして、担当する領域におけるセキュリティ機能構築を実施することができる。</p>

スキル熟達度・知識項目

職種:ITスペシャリスト

専門分野:レベル1、2共通

専門分野:
共通

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>テクノロジー</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 最新技術動向 - 最新IT市場動向 - コンピュータ科学基礎 - コンピュータシステム - コンピュータシステムアーキテクチャ及び基盤技術の理解と活用 - システムプラットフォーム技術 - プラットフォーム技術 - ミドルウェア技術 - データベース技術 - リレーショナルデータベース管理システムの基本機能 - トランザクション処理とDBの同期点の関係 - ネットワーク技術の理解と活用 - インターネット技術 - システム管理技術 - プログラミング言語、マークアップランゲージ - データモデリング - データベース設計 - データベース運用設計 - システム管理手法 - アプリケーションセキュリティ - システムの構成 - システムの開発、保守 - システムの開発環境 	レベル2	同一職種の上位者の指導の下、技術チームメンバーとして、既知の技術、知識を利用し、システムの構築、導入に関する一連の作業を実施することができる。
	レベル1	同一職種の上位者の指導の下、技術チームメンバーとして、既知の技術、知識を利用し、システムの構築、導入のいずれかの局面の作業を実施することができる。

専門分野:
共通

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>デザイン</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - モデリング技法の理解と活用 - 設計手法 - データベース、ミドルウェア、分散コンピューティング設計 - 開発環境設計 - 要件定義 	レベル2	同一職種の上位者の指導の下、技術チームメンバーとして、既知の技術、知識を利用し、システムの設計に関する一連の作業を実施することができる。
	レベル1	同一職種の上位者の指導の下、技術チームメンバーとして、既知の技術、知識を利用し、システムの設計に関する一部の担当領域の作業を実施することができる。

専門分野:
共通

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>ソフトウェアエンジニアリング</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 開発手法 - 設計手法 - 外部設計 - 内部設計 - プログラム設計 - プログラミング技術 - テスト技法 - 開発支援ツール - オブジェクト指向開発 - 再利用手法 - 検証技法の活用 - セキュリティシステムの実装、検査 - 技術問題解決手法 - 技術検証手法の活用と実践 - 標準化 - セキュリティとプライバシー - システム監査 	レベル2	同一職種の上位者の指導の下、技術チームメンバーとして、既知の開発手法を利用し、担当する領域におけるシステム開発の一連の作業を実践することができる。
	レベル1	同一職種の上位者の指導の下、技術チームメンバーとして、既知の開発手法を利用し、担当する領域におけるシステム開発のいずれか一部の作業を実践することができる。

専門分野:
共通

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>業務分析</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 業務要件分析 - 技術要件分析 - システム化戦略策定 - プラットフォーム要件定義 - システム価値の検証 - 情報化と経営 - インダストリ知識 - 汎用業務内容 - 汎用業務最新動向 	レベル2	同一職種の上位者の指導の下、技術チームメンバとして、既知の技術、知識を利用し、担当する領域における業務要件、技術要件分析を行い、情報システム利用提案内容を説明することができる。
	レベル1	同一職種の上位者の指導の下、技術チームメンバとして、既知の技術、知識を利用し、業務要件、技術要件分析に関する一部の担当領域の作業を実施することができる。

専門分野：
共通

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>プロジェクトマネジメント</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト統合マネジメント - プロジェクト・スコープ・マネジメント - プロジェクト・タイム・マネジメント - プロジェクト・コスト・マネジメント - プロジェクト品質マネジメント - プロジェクト人的資源マネジメント - プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント - プロジェクト・リスク・マネジメント - プロジェクト調達マネジメント 	レベル2	同一職種の上位者の作成したプロジェクト計画に従って、技術チームメンバーとして、担当する領域におけるシステムの設計、構築、導入の一連の作業を実施することができる。
	レベル1	同一職種の上位者の作成したプロジェクト計画に従って、技術チームメンバーとして、担当する領域におけるシステムの設計、構築、導入のいずれかの局面の作業を実施することができる。

専門分野:
共通

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>リーダーシップ</p> <p>【知識項目】</p> <p>- リーダーシップ</p>	レベル2	同一職種の上位者の指導の下、技術チームメンバとしてプロジェクトに参画する上で必要となる、チームワーク、責任性、実行力などの基本的資質を發揮することができる。
	レベル1	同一職種の上位者の指導の下、技術チームメンバとしてプロジェクトに参画する上で必要となる、チームワーク、責任性、実行力などの基本的資質を理解し、プロジェクトに参画することができる。

専門分野:
共通

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>コミュニケーション</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 2Wayコミュニケーション - 情報伝達 - 情報の整理、分析、検索 	レベル2	技術チームメンバとして、プロジェクトチームメンバと技術的な情報を交換する上で必要となる、基本的な2Wayコミュニケーションや情報伝達、情報処理を行うことができる。
	レベル1	技術チームメンバとして、プロジェクトチームメンバと技術的な情報を交換する上で必要となる、基本的な2Wayコミュニケーションや情報伝達、情報処理を理解し、プロジェクトに参画することができる。

専門分野:
共通

ITスペシャリストのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>ネゴシエーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>- ネゴシエーション</p>	レベル2	技術チームメンバーとして技術的課題解決に取り組む上で必要となる、信頼関係の確立、目標の設定、論理的思考などの基本的資質を発揮することができる。
	レベル1	技術チームメンバーとして技術的課題解決に取り組む上で必要となる、信頼関係の確立、目標の設定、論理的思考などの基本的資質を理解し、プロジェクトに参画することができる。